

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	運営者や職員が意見を出し合い、事業所独自の理念を作り上げてほしい。	介護、運営理念を策定する。	月1回のミーティング時に、介護運営理念の持つ意味を職員同志で話し合い、理解を深める。	6ヶ月
2	35	職員と利用者が避難技術を身に付けるためにも消防署の立ち合いを依頼して、指導を受けてほしいが。また、自主訓練を重ねてほしい。	消防署の立ち合い、専門的な意見を聞き、災害時に利用者、職員が安全に避難できるように、定期的な訓練を実施する。	火災、地震、水害に対応できるように、消防署の立ち合いを含め、自主訓練を年に2～4回実施していく。	12ヶ月
3	36	居室内に紙おむつ等が目につくところに置いてあるので、見えない場所やカバーをかける等の工夫が必要。	個人の尊厳の尊重。	プライバシーに配慮することを職員一同で心がけ、個人の尊厳を尊重し、職員の都合の良い、物の配置を止め、物が訪問者等から、見えない場所、カバーを掛けて隠す等の介護、支援を行っていく。	3ヶ月
4	40	献立を利用者の見えるところに提示してほしい。検食からでも職員が利用者と同じものを食べて量や味付け等の意見を出してほしい。	食事は『より豊に』『楽しみ』であると考え、楽しく、豊かな時間がとれるように工夫、支援を行っていく。	毎食、お品書きを作成し、利用者が何を食べているか、量、質に満足しているか確認していく。毎食、職員一人が同じ物を食べ、感想等を聞き取り、食事提供にフィードバックしていく。	12ヶ月
5	45	前日に入浴した人であったても、入浴できることを伝え、希望が出れば支援してほしい。	希望を伺いながら、入浴＝お風呂に入ってもらって身体の清潔にする。と言う義務的なものではなく、『気持ちが良い』『入浴を楽しむ』『リラックス』『気分転換』が出来るように支援を行う。	体調面、精神面に留意しながら、希望を伺い可能な限り、入浴回数を限定せず、入浴を楽しめる環境、体制を整える。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。